

地域の新たな

「しごと」と「活力」を生み出し

障がい者が安心して過ごせる

「農福連携事業」



MACHI WAKU

まちワクPROJECT 農福連携事業



まちワクファームは、農福連携事業『まちワクプロジェクト』の一環として設立されました。

宮城県仙台市泉区実沢に位置し、約 5000 坪の敷地に 8 棟のビニールハウスで農業をしています。年間を通して様々な野菜や果物を生産しております。環境にも人にも安心安全で美味しい農産物を生産することで食べた人が幸せになり、笑顔が集まる場所となり、地域に必要とされるファームを目指しています。

農福連携事業「まちワクプロジェクト」とは

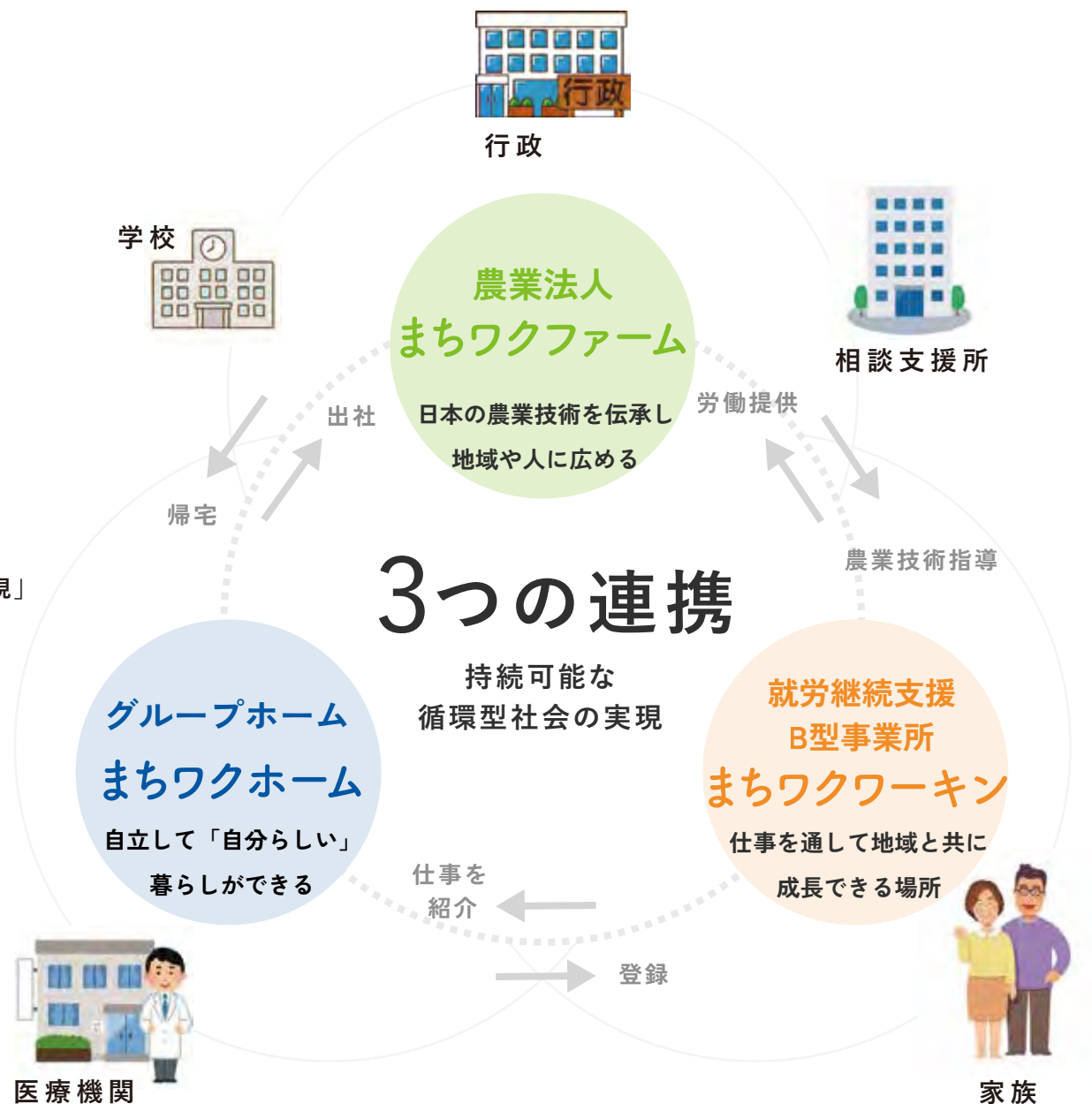
● ● ● まちワクPROJECT 農福連携事業



障がい者が安心して生活できる「衣・食・住」をベースに、自立をサポートする住まいや「農業」と「福祉」を両立する農福連携事業です。

自分にできる事を増やし、役割を持つことで自信をつけ、地域と繋がりを持てるコミュニティを作ること
「生きる力や可能性を最大限に発揮できる地域共生社会の実現」を目指しております。

障がい者ひとり一人抱えている問題は様々です。ご家族や行政、相談支援所などと連携して、利用者の状況を共有しながら、生活のアドバイスや働き方などの作業内容を障害特性に応じて、専門機関からも、アドバイスを頂きながら解決し進めております。
また、支援学校や地域、専門機関と積極的に連携し、支援学校の教育の一環として「体験学習」の受け入れや、地域の相談支援所や行政との窓口など、ハブとしての機能も担います。



「まちワクプロジェクト」が大切にしている6つの柱

● ● ● まちワクPROJECT 農福連携事業

1

安心・安全な農作物の提供

休耕地に新たな息吹を吹き込み、地域に必要な農作物を提供し、農業従事者の担い手不足や食料自給率の低下と向き合える農業を行います。

2

自分の得意を見つける

まちワクワーキンでは委託会社との連携で、仕事の領域を拡大し、農業をはじめとし多種多様な経験を提供いたします。

3

安心して過ごせる場所

グループホーム利用者が安心・安全に過ごせるように、居心地のよい住まいを提供。家族のように食卓を囲み、仲間と共に、準備や片付け、栄養バランスのよい食事で心身共にリラックスできる生活をサポートいたします。

4

地域と関わる環境

プロジェクト内には、福祉職以外の社会経験をした職員も多数おりますので、私たちならではの特性を活かした地域との交流を行い孤立のない環境づくりを行います。

5

自分が必要とされている場

事業所の利用回数の量ではなく、利用の質にこだわった事業所運営を行い、個人が必要とされる場を作ります。

6

ご家族のフォロー

個別相談の場を設けるほか、利用者のお迎えに来た際に、言葉を交わすなど、日常的なフォローをおこない、ご家族がいつでも頼れる場を目指します。

農福連携とは、担い手の高齢化と減少が進む農業分野と、
障がい者や高齢者の働く場の確保を求める福祉分野との連携です。



農業分野の抱える問題

● ● ● まちワクPROJECT 農福連携事業

農業従事者の減少

2007年 **202** 万人 → 2022年 **116** 万人

農業従事者の高齢化

2022年：平均年齢 **70** 歳

農業における一番の課題は、農業従事者の大幅な減少です。2007年からの約15年で202万人から116万人へと半分以上に減少しています。

同時に従事者の高齢化は進み、担い手不足はもちろん、農業全体の衰退へとつながっています。

結果、農産物関連の産業を中心としていた地方経済は衰退し、それが更なる農業人口の減少を加速する悪循環へとつながっています。



(出所) 農林水産省「農業構造調査結果」よりNAPA作成

野菜や果物の栽培

仙台市泉区実沢に
約 5000 坪の農地を購入

ビニールハウス 8 棟で
野菜、果物を栽培

採れたて野菜を
現地直売所にて販売



福祉分野が抱える問題

まっくプロジェクト 農福連携事業

障がい者の増加

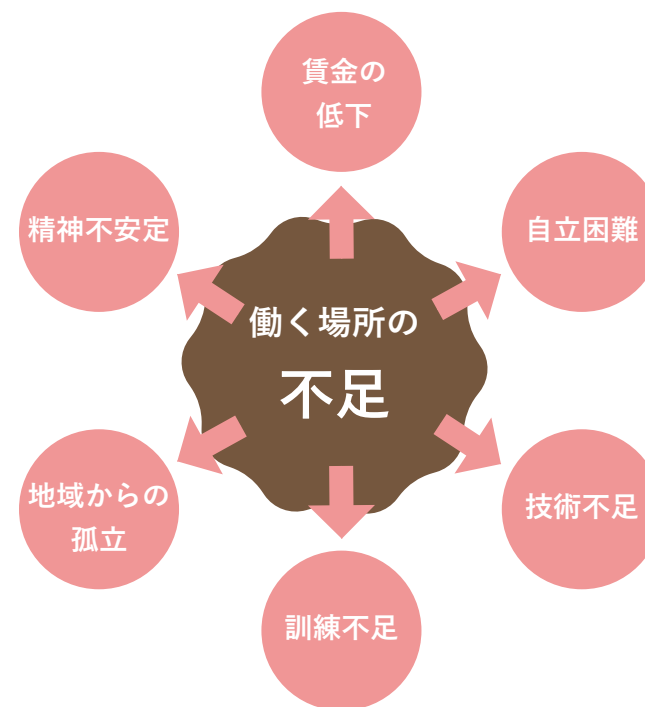
年々増加し、約 900 万人。全人口の 7.4% 精神障がい者はここ 5 年間で倍増

就労・社会参加の場の不足

- 障がい者人口の増加による就労場所の不足
- 一般就職の難しさに加え、就労後の定着率の低さの問題

自立のための工賃確保

- 就労継続支援 B 型の月額平均工賃：16,118 円（全国平均）
- 家庭の負担軽減や自立に向けて賃金の向上が必要



福祉分野の抱える問題の一つに、障がい者の就労の問題があげられます。障がいのある人たちが、自立し、生活していくためには、就労して収入を得ていくと同時に、社会生活に参加し、交流していく必要があります。近年、障がい者人口は増加の傾向にあり、特に精神障がい者の増加は時代を反映しているとも言えます。その反面、障がい者の雇用は、国の諸制度により推進はしてるものの、企業の受け入れ体制の問題や、定着率が低いなど多くの問題をはらんでいます。



就労継続支援 B 型事業所



「なりたい自分をかなえるサポート」
まちワクファームで働き農業にも挑戦

共同生活を通してできるをふやす



まちワクプロジェクトの課題



月額工賃は、就労継続支援 B 型事業所での作業の売上から、経費（作業で要した費用）を差し引いた金額を利用者で分配した金額が月額工賃となっており、日々の作業内容（特に作業単価）は重要なポイントです。

まちワクワーキンとは、農作業だけでなく、利用者の得意を見つけ、希望される方には一般就労へのステップアップ型の事業所運営を目指しているため、軽作業や掃除作業など様々な作業にも取り組んでおります。

利用者の工賃の県内平均は月額 18,169 円となり、まだまだ自立に向けた収入を得ているとは言えない現状があります。まちワクワーキンが目標にしている月額工賃は 30,000 円です。

支援の必要性

まちワクファームを支援していただくことで、農業存続にも繋がり
B型就労所で働く人たちの賃金向上にもつながります。



ファームが高い金額の作業を依頼できることが、安定した月額工賃を目指せます。

企業様にマンスリーサポーターになって頂き、毎月定額を頂戴し
ファームで作った季節の旬な野菜をお送りしております。

マンスリーサポーター企業様を募集しています

● ● ● まちワクPROJECT 農福連携事業



	ゴールドスポンサー ¥30,000 (税込) / 月	シルバースポンサー ¥10,000 (税込) / 月	ブロンズスポンサー ¥5,000 (税込) / 月
毎月お届け	めんこちゃんにんにく (10 袋) 又は、旬のお野菜や果物・加工品など	めんこちゃんにんにく (5 袋) 又は、旬のお野菜や果物・加工品など	めんこちゃんにんにく (3 袋) 又は、旬のお野菜や果物・加工品など
初回入会特典	農業体験ご招待チケット 10 枚	日本ミツバチのハチミツ (1 個 /120g) 農業体験ご招待ペアチケット	日本ミツバチのハチミツ (1 個 /120g) 農業体験ご優待割引チケット 5 枚
次年度更新特典	農業体験ご招待チケット 30 枚 又は、最大 50 名まで貸切	農業体験ご招待チケット 5 枚	—
オフィシャルホームページへの社名掲載	○	○	○
まちワクファーム エントランスサインボードへの社名掲載	○	○	○
オーナーズカード	ゴールドカード 直売所にて 10%OFF	シルバークード 直売所にて 5%OFF	—

※オーナーズカード特典：お電話にてご注文いただいた場合も対象となります。オンラインサイトは対象外となりますのでご注意ください。

支援の使途

施設利用者の平均賃金 UP

ファーム整備費

施設利用者の軍手などの備品費

施設の整備

利用者イベント

お申し込み方法



●まちワクファームホームページ

受付フォームよりお申し込みください。

<https://farm.machiwaku.net/>

●お電話 & ファックス

TEL. **022-725-6814**

FAX. **022-725-6817**

※ 以下、情報をお送りください。

企業名、担当者名、ご住所、電話番号

SDGs の取り組み



SDGs(エスディー・ジーズ)とは、持続可能な開発目標という意味で、国連が掲げた2030年までの国際目標です。地球上の誰一人として取り残さない社会を実現するために、17のゴール・169のターゲットが掲げられました。まちワクファームは農福連携に取り組むことで6つの目標を実現しています。

3 すべての人に
健康と福祉を



農福連携により障がい者の就労支援を行っています。また、自然栽培により美味しく健康的な食材を提供します。

10 人や国の不平等
をなくそう



ジョブコーチ(障害のある人が働きやすい環境を作る人)支援を通して、年齢・性別・人種・障がいの有無に関わらず、生きるために必要な体力をつけ、作業を効率よく行えるサポートをしています。

11 住み続けられる
まちづくりを



耕作放棄地や継続が困難になった農家をサポートし、引き継いでいくことで障がい者が働く場を増やしています。また、収穫体験やイベントを開催し、地域とのコミュニケーションをとることで良好なつながりを支援しています。

12 つくる責任
つかう責任



農薬や肥料を使わない自然栽培により、持続可能な管理及び効率的な農地利用を達成しています。

15 陸の豊かさも
守ろう



農地に農薬や化学肥料を使用しないことで、多くの生き物が共存できる生態系に配慮し、持続可能な環境を作っています。

16 平和と公正を
すべての人に



障がい者を配慮しながらも不要に依存させることなく、障がい者自らが権利を守るための適切な主張ができるよう、支援者障がい者双方の意識啓発に取り組んでいます。

ABOUT US

● ● ● まちワクPROJECT 農福連携事業



農業法人株式会社まちワクファーム

〒981-3217 宮城県仙台市泉区実沢宮東 15-1

TEL. 022-725-6814

営業時間：10:00～15:00（定休日：火曜日）